

CS（コミュニティ・スクール）学習会

R6.8.21（水）

10時30分から二階多目的室において、学習会を実施しました。

北中学校のCSは昨年度から本格実施され、2年目となります。ただ、全教職員・地域住民にCSについての理解が浸透しているか、と言ったらまだまだのところがあります。

そこで、学校運営協議会の山田会長より、夏季休業中に教員・地域の方を対象とした学習会を開催したい、という発案があり、実施するに至りました。

講師として、多治見中学校 長瀬 教行校長を招聘し、CSについて、西陵中学校・多治見中学校の実践を交えながら講話をしていただきました。とても分かりやすい内容で、学校・地域それぞれの立場からの想いやずれを擦り合わせて実践に繋がられたことなど、学ぶべきことが多くありました。

また、講話後は、教員と地域の役職者の方々が小グループに分かれ、感想交流や現状から考えること、今後に向けての想いなど、交流を深めることができました。

全教員が参加して地域の方と交流する、という機会はなかなかありません。

学びの場とともに、現状について交流する場があり、とても価値ある時間であったと言えます。

「地域とのつながりなくしてこれからの学校は成り立っていない。」正しくその通りであると思います。

今後、顔の知れた関係となって、自然に関わりがもてるようになることを大いに期待します。

